

10月30日（土）、就農希望者バスツアー開催概要

養父市と朝来市の3農場を見学しました。

各農場での丁寧な説明、参加者からの熱心な質問で、「見て、聞いて、体験して」という目的にかなうツアーになりました。それぞれの市での就農に向けて準備を始めた方がお一人ずつおられます。昨年度までの参加者から7の方が就農されています。

兵庫県で就農を考えている方、ぜひご参加ください。

養父市

豊嶋農園:豊嶋良和 氏

朝来郡和田山町(現朝来市和田山町)出身。兵庫県農業会議(現ひょうご農林機構)のインターンシップ研修を経て、平成29年度に雇用就農、その後、施設園芸部門で県内初の第三者継承にて独立就農。

有機無農薬の大屋高原野菜を、4月から11月の間、主に、ほうれんそう、みずな、小松菜などを栽培。雪に閉ざされる12月から3月までは、他業種に従事するほか、ウインタースポーツを満喫。

経営規模:農地 102.9a、ハウス26棟(300㎡・5棟、250㎡・5棟ほか)



後輩に贈る言葉

最初に頼る窓口を間違えないこと。

古参者からの妬み、ひがみを受けるのは覚悟しておいたほうが良い。

(関わるべき人か どうかを判断する力、苦手な人は上手に回避する技術を身につける。

成功している人に師事すること。

あとはのんびり農業を楽しむだけです！

参加者の感想

- ・第三者継承という形態があることを知った。
- ・効率を求める農業が良いと感じた。
冬は閉山ということで割り切って考えられるのもメリハリがあって良い。
- ・難しく考えなくてもいいと言ってくれるところ。なんとかなる。1,000万ぐらいで継承できる。
- ・自分はこのスタイルでやりたいです。
- ・26棟でも一人でできるという話が参考になりました。
- ・ほうれん草は30日で獲れる。回転がはやい。
- ・全部自分でやろうと無理せず、必要があれば融資を受けながら機械を導入して効率化したり、パートさんを雇ったりと、時間とお金の使い方が大事である印象を受け参考になった。
- ・ほうれん草が1か月で育ち4回転/年できるということ。シーズンがハッキリしていてメリハリのある時間を使える。第三者継承や融資制度など、資金面では現実を知れた。
- ・畑がきれいでお話しとても参考になりました。一番イメージがわきました。
- ・その土地・環境に適した農作物を育てることを見直そうと思った。
(露地の有機野菜をやっていく上で)
- ・金銭面等の話が詳しく聞け、参考になった。実際の圃場や農機具が見れて良かった。
- ・最初に頼る窓口を間違えないこと」についてお話が聞けたのが参考になりました。



Mill Leaf:田村和樹 氏

西宮市出身。奈良県の農園での研修、県立農業大学校の1年間の実践研修を経て、平成25年に、祖父母の住む養父市に孫ターンし、就農。「おおや有機の学校」に入校し有機を学ぶ。ほうれんそう、みずな、小松菜などの施設野菜、なす、ピーマン、オクラなどの露地野菜を栽培。

経営規模:農地 50a、ハウス3棟(200㎡・2棟、100㎡・1棟)



後輩に贈る言葉

- ①就農に向けよりよい準備を！（資金、農地、技術、意識、信用）
- ②苦難、失敗から立ち直る力が必要
- ③農業はクリエイティブな仕事、可能性は無限
- ④自分の性格、資質に合ったスタイルの確立を目指して



参加者の感想

- 多品種でつくりはじめ品目をしぼるやり方がその土地にあった品を定めるいちばん良い選定方法だと感じた。
- 排水のよい農地の大切さを知った。
- 時季により収穫できるものを効率よく生産できるようにする。
- 土地を選ぶ際に、水はけが大事で、借りたり買う前に周辺の人に意見を聞くことが大切と思った。土地の特性を聞く前にハウスを建てないほうが良さそうと感じた。
- 露地とビニールハウスを併用することで年間を通じて作物を選んで育てられるのは良い。販路を自ら見つけるのは難しそうですが、特定の店舗と契約することで計画的に進められる。
- 販路を安定させる上で、仲間と手を組むのも一つの手立てと感じた。
- 苦労話（水や土木関係）がためになった。有機でやるなら土地選びが大事。
- いろんな品目を育てて経営の核となる品目を絞ったという田村さんと、経験値を積むためにねぎを中心に育てているという田中さんの対照的な部分があるお話が参考になりました。（環境や自分の性格、考え方に合うやり方を見つける。）



神戸市出身。父親の実家がある朝来市に孫ターン。市内の先進農家で3年間、市の特産品である岩津ねぎの栽培方法を学び、令和2年4月に独立就農。岩津ねぎに加えて、今後の特産化を目指して小玉スイカの栽培に取り組む。

経営規模:農地80a、岩津ねぎ、小玉スイカ、枝豆(秋)、白ネギ(秋)、朝倉山椒



後輩に贈る言葉

未経験から始めましたが、『農業で生きていくんだ!』という思いと、自身の現状を把握し、それに伴った自分の戦略を立て、挑戦し続けることでここまで進んできました。

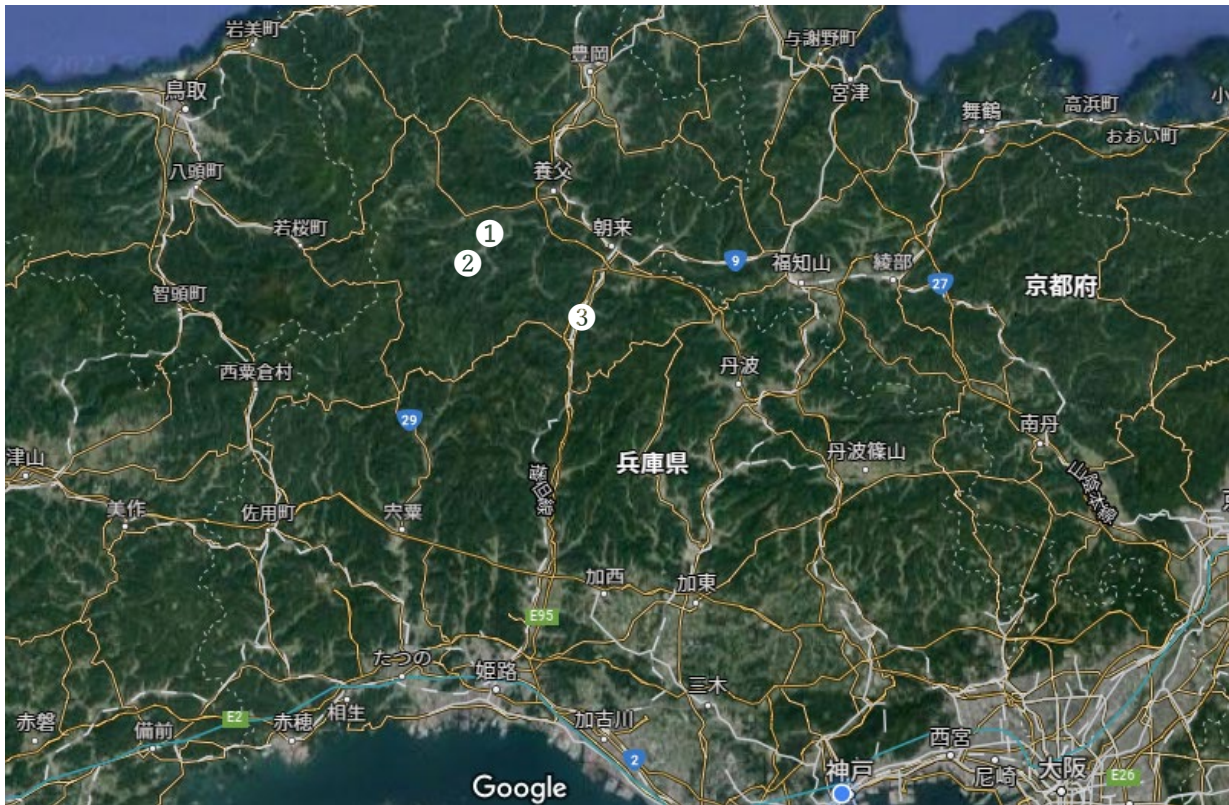
人生は一度きりです。挑戦しましょう!

参加者の感想

- 効率化を追求する姿勢
 - ワークライフバランスで農業に取り組む姿が若い農家の等身大な感じがして参考になった。
 - 効率を考えての仕事のやり方、家族との時間を大事にされる農業のやり方、親方とのコミュニケーション
 - 自分と歳ほぼ一緒でしたし参考になりました。
 - 費用対効果を考えた出荷方法など課 bb ガエルポイントが参考になりました。
 - 雇用就農も組織で働くが、独立でも人とのつながりが大事。しっかりした準備と戦略を考えて動く。
 - 作物をつくる面積や量よりも、作物を出荷する時間の確保や管理を効率化することが大事という考え方が参考になりました。将来独立就農を考えているので出荷にかかる手間について考えていこうと思いました。
 - 楽しんでされているように見えた。ぶっつけ作業ではなく、予め環境の手入れや立地など計画的に進め、一般論に捉われず、それでも先輩方の助言もいただきつつされている。
 - 収穫が一番大変ということ知らなかったです。
 - 作物を育てることに徹する。大量生産で簡易化、効率をよくすることが収益をあげるヒントになった。
 - ワークバランス型で生産特化型の農法について話が聞け良かった。
 - いろんな品目を育てて経営の核となる品目を絞ったという田村さんと、経験値を積むためにねぎを中心に育てているという田中さんの対照的な部分があるお話が参考になりました。(環境や自分の性格、考え方に合うやり方を見つける。)
- 田中さんのお話を聞いて、自分がどういう農業をしたいのかイメージを持つことが大切だと思いました。



◇位置



- ①豊嶋農園 ②Mill Leaf ③Farm 咲 us

◇過去の開催状況

年度	行先	参加者(人)	独立就農者(人)
H28	兵庫楽農生活センター	20	2
	淡路市 湯浅ナーセリー (花壇苗)		
	淡路市 淡路の島菜園 (野菜)		
	洲本市 平岡農園 (果樹)		
H29	神戸市西区 鎌田農園 (長ネギ)	33	4
	県立農業大学校		
	丹波篠山市 かまい農場 (黒大豆)		
	加東市 ブリランテ (6次化)		
H30	神戸市西区 ナチュラルリズム (野菜)	26	0
	兵庫楽農生活センター		
	稲美町 (株)LEAD (野菜)		
R1	中止	—	—
R2	丹波市立農の学校	24	1
	丹波市 タンポポファーム (野菜)		
R3	養父市 豊嶋農場 (野菜)	15	0
	Mill Farm (野菜)		
	朝来市 Fam 咲 us (ファームサカス) (野菜)		

※就農者数は R3 ツアー開催日 (R3. 10. 30) 現在